

CONTENTS

オープニング 1
 ●謎解き特集：北栄町3つの謎。
 file.01 名探偵コナン 2
 ●謎1：なぜ、まちじゅうがコナンだらけ？
 file.02 謎の風車とエネルギー 4
 ●謎2：なぜ、9基の巨大風車が回っている？
 file.03 砂丘地・黒ぼくの秘密 6
 ●謎3：砂丘地と黒ぼく畑で何ができる？
 ●北栄農業ライフ 8
 file.04 北栄町歴史 10
 ●今なお残る砲台
 file.05 10年間の出来事 12
 ●北栄町の10年
 file.06 北栄町まちづくりビジョン 13
 ●まちづくりのカギ
 file.07 北栄のミライ 14
 ●ミライ座談会
 information 16

北栄の謎

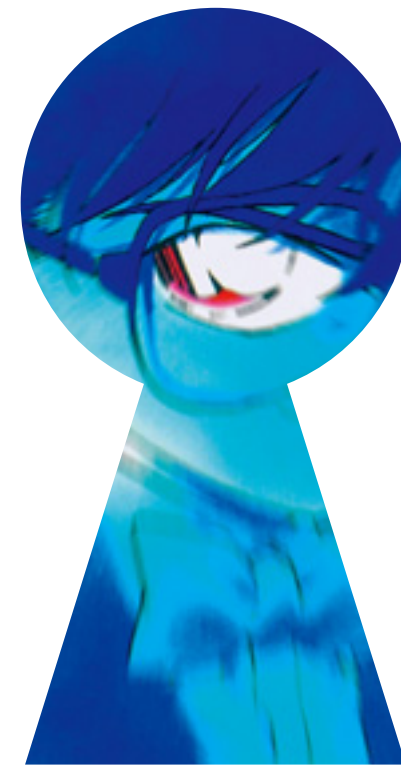


名探偵コナン

『週刊少年サンデー』にて1994年5号より連載が始まった、人気推理漫画。「見た目は子ども頭脳は大人」な主人公・江戸川コナンが数々の難事件を解決していく。



©青山剛昌/小学館



北栄の謎

町で多数目撃される名探偵コナン
 海岸で回り続ける、9基の風車
 砂丘地・黒ぼくが育んだ、人々を虜にする品々…
 10周年を迎えた北栄町をとりまく
 謎解きの扉が、いまゆっくりと開かれる。

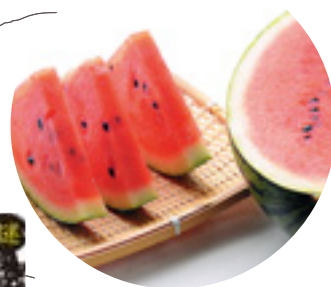
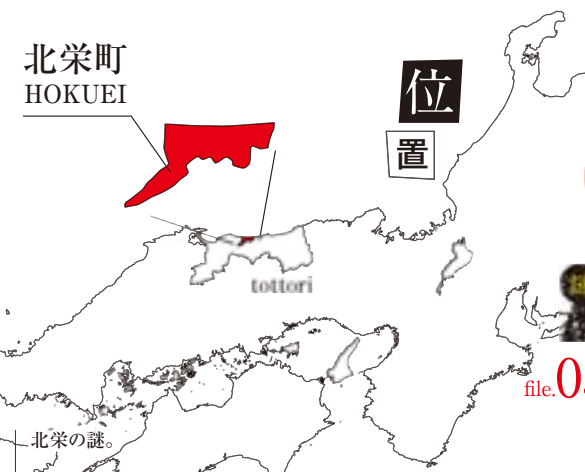
鳥取県
 北栄町合併10周年記念要覧



file.01 「名探偵コナン」

多きまち、北栄町は平成17年に誕生。鳥取県の中部に位置し、日本海に面するこのまちには大きな3つの謎が…。町中に点在する「名探偵コナン」、凛とした白を身にまとい突如現れる「9基の風車」、海岸線と平行して走る広大な「砂丘地」。すべての謎を解く鍵はこの中に。

北栄町とは 3つの謎



file.03 「砂丘地・黒ぼくの秘密」



file.02 「謎の風車とエネルギー」

おなじみの
キャラクターに
会える！

青山剛昌
ふるさと館

作者の所蔵物や作品の展示のほか、アトラクションもあるファン必見の施設。

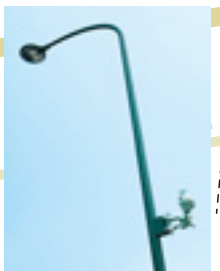


少年探偵団

脱出できるかな？

巨大迷路

4つのチェックポイントをすべて巡り、1秒でも早くゴールを目指そう。



ターボエンジン付きスケートボードに乗ったコナン君は迫力満点。

街灯にも「コナン君」が！



新一と蘭が並んで歩くブロンズ像は、人気スポットの一つ。

出会うの広場

コナン大橋

コナン君をモチーフにしたオブジェがたくさん。



階段にも注目！

コナン駅

コナン駅



コナン君が出迎えてくれる、まちの玄関口。



ベーカーストリート

コナン大橋のたもとにあるアニメ・マンガグッズ専門店。お気に入りグッズをゲット。

MAP凡例

- ブロンズ像
- 石製モニュメント
- 誘導案内表示シート
- 路面装飾シート
- 街路灯&表示看板

file.01 名探偵
DETECTIVE CONAN
コナン

謎 なぜ、まちじゅうがコナンだらけ？

▼まちの各所にコナン君
電車やマンホール、街路灯など、まちを歩けばさまざまな表情のコナン君に会える。



名探偵コナンの作者、青山剛昌先生が北栄町出身！

コナン君がタウンジャック？

山剛昌先生の出身地であることから、「名探偵コナンに会えるまち」としてまちづくりを展開中。表情豊かなブロンズ像が飾られたコナン通りをはじめ、作者や作品の世界観を体感できる施設やショップなど、年間を通じて多くの方が訪れています。



コナンのまちづくり年表

【平成9年】
商工会からの提言（旧大栄町）
ここから「名探偵コナン」を題材としたまちづくりがスタートしました。

【平成10年】
すいか・ながいも健康マラソン大会
参加賞に特別描き下ろしデザインのTシャツを採用しました。



【平成11年】
地域振興券にコナン採用
全国のファンから問い合わせが殺到するほどの人気を博しました。

コナン通り
コナン大橋完成
開通式には、青山剛昌先生も参加し、完成を共に祝いました。

【平成17年】
北栄町合併記念
名探偵コナン展開催
コナン君のルーツを探し、全国各地から2万3700人もの方が訪れました。

【平成19年】
青山剛昌ふるさと館
オープン



オープニング式典では、「少年探偵団」のオブジェの除幕式とテープカットが行われました。

【平成24年】
国際まんが博
コナン君を通じて、北栄町から世界へマンガ文化を発信しました。

【平成25年】
コナン駅
JR由良駅の愛称をコナン駅とし、駅舎内には観光案内所も整備しました。

【平成27年】
鳥取砂丘コナン空港
「鳥取砂丘」と「名探偵コナン」の全国的な知名度を生かし、国内外に発信するため、空港の愛称が「鳥取砂丘コナン空港」に決定。空港内には、ロゴマークを使用した看板や床面のトリックアートも加わり、コナン君が全国・世界の皆さんをお迎えしています。



謎²なぜ、9基の巨大風車が回っている？file.02 謎の風車と
エネルギー

真実
風を利用して
電気を発電！

風 は、ときに和やかに、
ときに激しく吹き、私

たちに自然の偉大さを感じさせます。北栄町では、この風を風力発電として活用することで、地球に「やさしい風」へと変える取り組みを進めています。現在、まちには9基の風車があり、日本最大級、高さ100メートルを超える風車群が雄大に立ち並ぶ様子は、まちのシンボルとなっています。9基の風車は、地球規模で次の世代にクリーンな環境を引き継ぎたいという、北栄町の想いを乗せて今日も回り続けています。

風力発電という
新エネルギー

風車に風を送ると回転をはじめ、そのエネルギーを発電機に直接伝えて電気を起こす仕組みが風力発電。運転時にCO₂などを排出しないクリーンな発電方法として、近年注目を集めています。数ある自然エネルギーの中でも、クリーンかつ持続可能であり、北栄町の地理・風土にも適しています。



夕暮れどき、北条砂丘海岸では、赤々とした夕日に染まる風車群が見られ、沈みゆく太陽に一日の別れを告げる、まちが誇る風景です。

新エネ・省エネへの
取り組み

限りある地球資源を消費しながら生活するスタイルから、自然と共に生きるスタイルの確立を目指し、北栄町では新エネルギー・省エネルギーの推進に取り組んでいます。未来の北栄町、ひいては日本、世界をつくっていく子どもたちに向け、これからも自然と共生していく大切さを発信していきます。



北栄町では、平成20年度から「菜の花プロジェクト」を始動。景観づくりのほか、菜種油を活用したバイオ燃料の精製など、循環型社会づくりに取り組んでいます。



謎 砂丘地と黒ぼく畑で何ができる？



file.03

砂丘地・黒ぼくの秘密。

真実 北栄町は県内有数の農産地。様々な農産物を栽培！

300年以上の研究により確立された砂丘地 農業、手間をかけるほど良い土となる黒ぼく、それぞれの地質を活かした農業は、北栄町の大きな活力となっています。

収穫量
1位

※鳥取県内

砂丘ながいも

やわらかな砂丘地で、のびのびと育った栄養満点の長いも。高級食材としても知られ、近年では、より粘りの強い「ねばりっこ」も登場している。

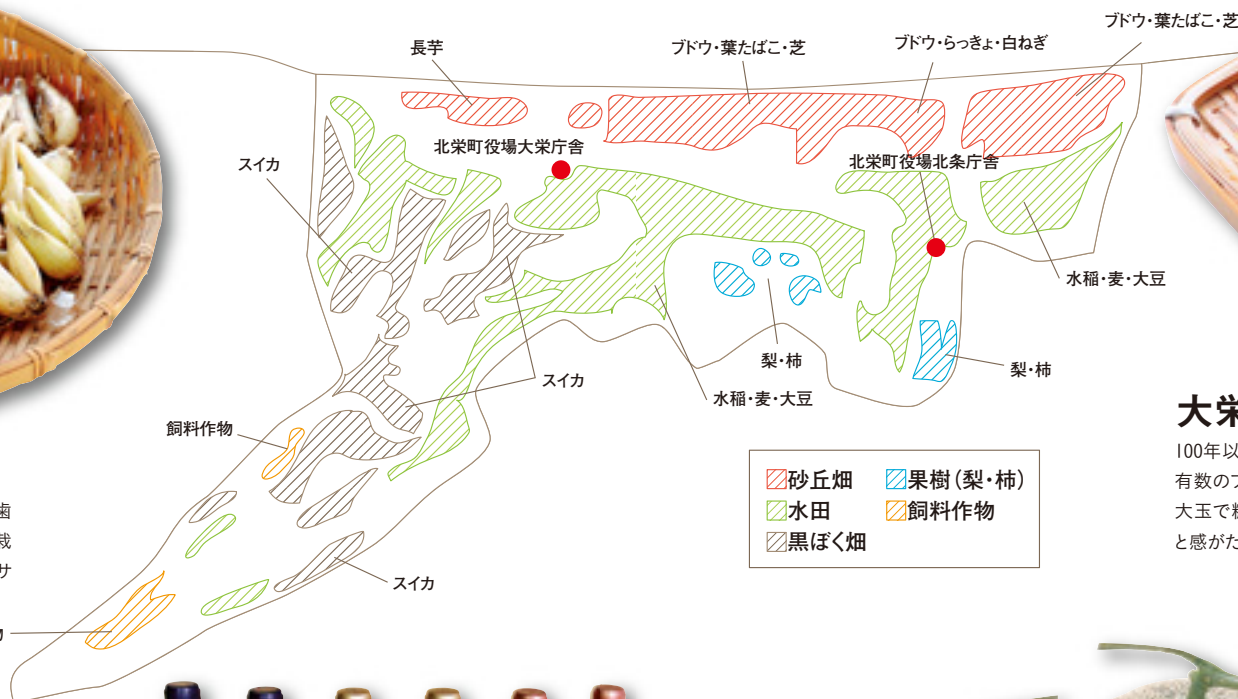


収穫量
2位

※鳥取県内

砂丘らっきょう

白く透き通り、シャキシャキと歯切れのよいらっきょうは、砂地栽培ならではの特産。血液サラサラ効果も。



大栄西瓜

100年以上の栽培歴史を誇る、国内有数のブランドスイカ「大栄西瓜」。大玉で糖度が高く、独特のシャリッと感がたまらない逸品。

収穫量
1位

※鳥取県内

メロン

砂丘や肥沃な黒ぼく大地の中で育ったメロン。6月中旬から7月中旬に最盛期を迎え、その甘く芳しい香りにうっとり。

収穫量
2位

※鳥取県内

畜産

国産牛ならではの安心感に加え、細かな霜降りが特徴の「大栄牛」をはじめ、豚肉や鶏肉の生産も盛ん。

肉用牛
飼養頭数
2位

※鳥取県内

収穫量
1位

※鳥取県内

砂丘ぶどう

砂丘ぶどうは、砂丘地特有の朝夕の寒暖差が甘さの決め手。巨峰をはじめ、さまざまな品種を栽培している。

北条ワイン

砂丘土壌で育ち、山陰の気候風土によってつくられた、こだわりのブドウを使用したワイン。



夢と希望が持てる
農業のよまち

北栄農場

私たちが誇る大栄西瓜最大の特徴は「味」。一般のものよりも収穫時期を1週間程度長くすることで、大玉で糖度も高くなり、皮がやわらかい。また、新規就農者への勉強会も定期的に行っています。「農業に強いまち」として、これからもまちが潤っていきけるよう、地域をあげて、生涯西瓜に関わる暮らしを続けていきたいですね。

スイカ農家
杉川 将登さん



全国が目にする
「持続可能」な
農業スタイル

前田農園

「フレンチの巨匠」松下シェフと出会い、その考え方や技術に感銘を受けて、調味料づくりを決意しました。シェフにいただいた調味料のレシピは、多数の材料を絶妙に組み合わせであり、味はまるでオーケストラ。現在は東京の大手デパートとの取引もあり、通信販売でも好評です。今後も質にこだわりの作り手を育成し、地域おこしにつなげられたいと思っています。

専業農家
前田 修志さん



純子さん



A FARMING COUPLE 農業夫婦

京都でのサラリーマン生活から一転、克恵さんの生まれ故郷へ二人で移住。現在は北栄町で農業に挑戦し、夫婦で長ネギを栽培中。

3年前、京都から妻の実家のある北栄町へ夫婦で移住して来ました。北栄町には広い土地がありましたし、何を始めるにしても一から思い、農業に挑戦することを決意しました。周りの先輩も親切でしたし、農業大学の研修を受けながら長ネギづくりに取り組みました。北栄町での暮らしは、ストレスフリーです。サラリーマン時代には月曜日が嫌だなんてこともありましたが、今は自分で決めたことを自分のペースでやることができます。今後の目標は、夫婦二人三脚で、長ネギづくりを極めていきたいです。



山田 実さん
山田 克恵さん
家族想いの奥様のため、実家のある北栄町へ二人で移住を決意。実さんは、意外とあっさり「帰っていいよ」と言ってくれたのだとか。



東地 隆行さん(右)
東地 大さん(左)
「農業」という同じフィールドで、同じ夢を追いかける若き兄弟。出荷量地域No.1、彼らの熱き挑戦はこれからも続く。

FARMING BROTHERS 農業兄弟

農業の世界に入り、数年足らず。駆け出しの農業兄弟が大切にしているのは「人と人の助け合い」。そこには一体、どんな出会いがあったのでしょうか…。

農業を始めた「きっかけ」は？
【隆行さん】農業を始める前はトラックの運転手をしていて、農業との接点はまったくありませんでした。それが突然、何かに導かれるように「農業がしたい」と思い、気づいたときには、知人を通じて、農業を習い始めていました。まさに、頭よりも体が先に動いたという感じですね。
【大さん】私も、そんな兄を手伝う中で農業の楽しさに触れ、始めることを決めました。

梨づくりでの「工夫」は？
【隆行さん】梨をつくる中で意識しているのは、「良い葉っぱをつくる」こと。枚数や厚さなど、きちんと目をかけてあげれば、あとは自然と美味しい梨ができてくれます。
【大さん】あとは、イノシシやカラスなどの対策ですね。あの手この手で、梨を食べにくるので、袋をかけたり、糸を張ったりしています。銃の免許も取得しましたよ。

ズバリ農業の「魅力」は？
【隆行さん】果樹をつくる土地や育て方ひとつで、美味しさがまったく変わってしまうんです。そうしたノウハウなど、知れば知るほど奥が深くてももしろいですよ。
【大さん】以前の仕事はやらされ感もありましたが、今は日々やりがいを感じて仕事をしています。それが一番大きいですね。

農業に従事し始めてからまだ日は浅いですが、日を追うごとにそのやりがいやおもしろさに気づかされています。特に、「良い先生を見つけること」が大切で、今の私たちがいるのも、農業を指導してくださった方との出会いがあつてこそ。本当に運が良かったなと感じるばかりです。助けていただいた恩をしっかりと返しながら、私たちが目指す農業は、志す若い人たちの目標になれるよう、頑張っていきたいですね。

克恵さんは、以前何のお仕事をされていたのですか？
大阪に住んでいたころは、夫婦ともにコンピューターソフトウェアの会社に勤めていました。結婚してからは京都に引っ越し、営業などをしていました。

北栄町に引っ越して来られたときの、まちの印象は？
【実さん】夜が真っ暗。あまり家やお店がないので、でも別に気にはなりません。北栄町の人はとても親切ですね。いつも助けてもらっています。

休みの日は何をしていますのですか？
【実さん】農業は休みもなにも、自分のペースで決められるので、基本は農業をしていないときは家でゆっくりしていますね。居心地がとても良いですよ。



比較的取り組みやすいので、長ネギから農業を開始したのだとか。





瀬戸観音寺

1713年(正徳3年)建立。昭和33年に県指定保護文化財に指定された「木造十一面千手観音立像」は、東高尾観音寺の国重要文化財の立像2体の兄弟仏とみられます。



東高尾観音寺

国重要文化財

国の重要文化財2体を含む45体の仏像を安置。中でも、昭和17年、国の重要文化財に指定された「木造十一面千手観音立像」は、平安初期にさかのぼる県内最古の木造仏です。



北条八幡宮

931年(承平元年)の建立と伝えられ、古来より庶民の崇敬、武将の尊崇が厚く、城壁のような造りから「城造り」と呼ばれています。



水桶

灌漑作業に使われた水桶。当時は、浜井戸から湧き出た地下水を汲み、肩にかついで一日中走りながら行っていました。



スプリンクラー

平成4年に集中コントロールによるスプリンクラーが完成し、現在のような集約度の高い農業地帯となりました。

砂 丘開拓の歴史は、北栄北部に広がる砂丘地域は、その地質から農地としての利用は難しく、灌漑・飛砂など、多くの問題を抱えていました。江戸時代後期から本格的な開拓に着手し、多くの人々のたゆまぬ努力が、今日の豊饒の大地を生み出しました。



榎田新蔵

1817年(文化14年)生まれ。砂丘地開拓の先駆者として多大な功績を残し、今なお郷土の偉人として広く知られています。

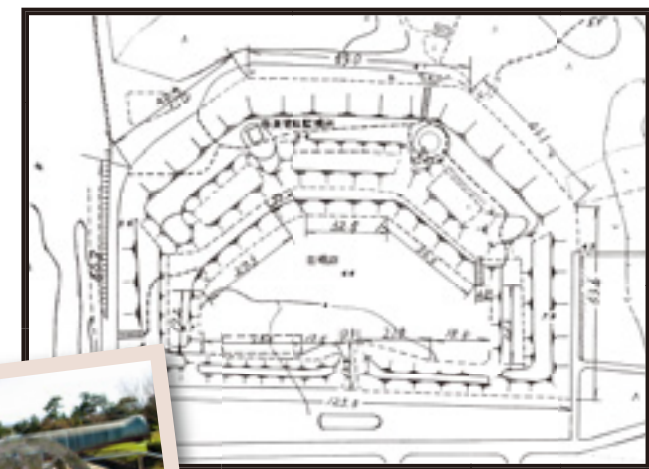
砂丘開拓のあゆみ

file.04

**北栄町
ヒストリー**

今なお残る砲台

由良台は六角形で、高さ10m、東西125m、南北83m、周囲約400m、面積約11,913㎡と規模が大きく、往時の原型を完全にとどめているものとしては日本唯一。また、隣接する公園には、大きさ約3m、口径35cm、重量3tという、当時最大級の大砲のレプリカを展示しています。



ふ と、まちを歩けば、輝かしい先人たちの足跡が今も息づいていることに気づかされ、長年培われてきた歴史や伝統、文化など、数多くの誇るべき財産に胸が熱くなります。素朴な中にも重みのある歴史やその証となるさまざまな文化財は、時を超えて、今を生きる私たちが大切に守っていくとともに、次の一歩を踏み出し、新たな歴史を紡いでいきます。



追儺式

北条八幡宮で行われる伝統的節分行事。節分・2月3日に、「鬼」と書かれた的に向け3本の矢が古式ゆかく放たれ、厄を払い無病息災を祈願します。



由良だんじり

江戸時代の千石船の航海や年貢米の積み込み作業の安全祈願を起源とする秋祭り。二人の稚児は舞台の上で扇と旗を手にして「花踊り」を踊り、四人の稚児太鼓をたたきながら、一日をかけて町中を練り歩きます。



松岸寺

本堂の格子天井に引田逸牛の絵画76枚が描かれているほか、日置黙仙の書翰屏風などが所蔵されています。



反射炉とは、高炉やたたらで造られた銹鉄を再溶解するための溶鉱炉のこと。六尾の反射炉は、1857年(安政4年)、従来製造されていた青銅砲の材料が不足したために、鑄鉄製の砲を造る目的で、財政難の鳥取藩にたつて瀬戸の大庄屋・武信左五衛門と、養子の潤太郎の資金・技術サポートにより2基建設されました。現在は取り壊され、反射炉北側の土塁が残るのみです。

六尾反射炉



【歴史・文化特集】

将来像

人と自然が共生し
確かな豊かさを
実感するまち



まちづくりのカギ

北栄町
まちづくりビジョン file.06

北栄町が歩むべき中長期の道筋(10年程度)を明らかにするため、町では住民と協働して町の発展に取り組むための町政運営指針として、5つの基本目標を掲げたまちづくりビジョンを策定しています。

1 げんきなまちづくり

夢と魅力のある農業の実現や農商工連携に取り組むとともに、名探偵コナンというオンリー・ワンの観光資源を用いたさらなる魅力向上に努めます。また、国際感覚豊かな人材育成を図り、交流活動を推進することで、人が行き交うまちづくりを行います。

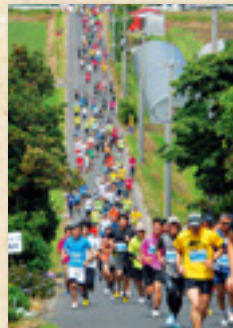
4 やさしいまちづくり

未来の子どもたちに豊かな自然環境を継承するため、白砂青松の北条海岸に立ち並ぶ風車をシンボルに、循環型社会を築きます。また、災害時の連携強化、交通事故や犯罪の未然防止、交通基盤の整備など、だれもが安心して住めるまちを目指します。



2 ゆたかなまちづくり

豊かな自然環境で子どもを育て、一人ひとりの人権を尊重する幸せな暮らしができるまちをつくります。また、誇りある文化財の保存・活用、優れた芸術に親しむ機会の提供のほか、いつでも・どこでも・だれでもできる生涯学習・生涯スポーツを振興します。



5 みんなのまちづくり

町民が自らのまちは自らの手で作り、守り、育てる「町民自治のまち」の実現を図ります。また、協働のまちづくりを進めるとともに、将来へ向け住民の満足度を高めるため、より一層の行財政改革に取り組み、健全で持続的な財政運営を推進します。



3 えがおのまちづくり

若い世代から高齢者までの健康的な生活習慣の確立を促進するとともに、すべての人が住みなれた地域で生涯を安心して暮らせる地域社会を築きます。特に、子育てを総合的に支援し、安心して子どもを産み育て、子育てと仕事を両立できる環境を整備します。



平成21年7月7日、1909年に砂丘地の一角に「甲州ぶどう」が植えられてから100年目を記念して行われた、北条砂丘ぶどう100周年記念式典。平井知事書の「慈愛一房」の記念碑が除幕され、記念に制作されたマスコットキャラクター「ホジョビー」が誕生。



安心・安全や教育など、ひとつのまちとしての暮らしやすさを追求したまちづくりを進めてきました。



平成21年3月、全町を対象に防災無線と自治会放送が運用可能な新音声告知システムを導入。



平成21年8月、平成20年7月に着手した「北条小学校新校舎」が完成。(延べ床面積3137.64㎡)



平成17年1月14日、平井知事をはじめ来賓をお迎えして、松本北条町長と吉田大栄町長が合併協議を整えた証として、協定書に署名。

平成17年12月8日、約28億円を投じて建設した北条砂丘風力発電所の竣工式。



平成19年6月5日、1907年に本格的な栽培を始めた、大栄西瓜の100年目を記念して行われた、大栄西瓜100年記念事業式典。記念に制作されたマスコットキャラクター「夏味ちゃん」が誕生。



2015	2014	2013	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

北栄町が歩んできた10年間の軌跡。これからも、まちに関わるすべての人が幸せを感じられるまちをつくっていきます。

平成25年、由良台場が江戸時代末期(1863~1864)に築造されてから150年を迎えた。平成25年4月、全国で登録第1号の道の駅「大栄」20周年。同年11月、道の駅「北条公園」20周年。



平成22年9月、オール電化厨房の北栄町学校給食センター完成。

平成24年3月、北条こども園竣工。平成24年4月1日、北条こども園、大誠こども園、由良こども園開設。平成27年4月1日、大谷こども園開設。



北栄町の10年

北栄町がこの地に産声をあげ、今年で10年。輝かしい歴史の「足跡」を追う。

10年間の出来事 file.05

平成22年7月27日、北栄町と台湾台中県大肚郷(現在、台中市大肚区)友好交流協定書に調印。平成23年7月2日、北栄町と滋賀県湖南市と友好交流協定を締結。





松本 昭夫さん
Akio Matsumoto

北栄町愛にあふれる、現・北栄町長。まちの発展、この地に暮らす人々のために、常に最前線でまちづくりに取り組んでいる。

Talk & Talk

まちの未来について語りました

生まれも育ちも北栄町。日頃からそれぞれのフィールドでまちのために活動している皆さんにお集まりいただき、北栄町が誕生してから今日までの歩みと、愛する北栄町の輝かしいミライについて語り合う座談会を開催しました。



北栄町誕生から10年。今日までのような活動をしてこられましたか。

【町長】平成17年10月に北栄町は誕生しました。合併当初は、旧北条町・旧大栄町それぞれの文化圏もありましたが、一つのまちとしてまとまり、一緒に新たなまちをつくっていくという思いで、協働のまちづくりを進めてきました。

【津島】私は現在、北条小学校PTA会長をさせていただく中で、保護者同士、家庭と学校の「つながり」を大切にしながら活動しています。また、保護者の皆さんが自ら役員になりたいと思ってもらえるPTAをつくるため、活動内容をPRするなど、役員になることのハードルが少しでも下がるとうれしいですね。

【竹信】農業を始めて10年が経ちました、北栄町と同じですね。合併を機に北栄町の農業はさらに開かれ、生産者への理解や新たな品種の導入、新規就農支援など、とても変化の多い10年でした。振り返るほどの余裕はありませんが、

ミライ座談会

北栄のミライ

file.07



全体的に農業しやすい環境が整ってきたという印象です。

より良い北栄町のミライに向けた、皆さんの思いを教えてください。

【津島】北栄町には、小学校・中学校が2校ずつありますが、子どもたちの数もだんだん少なくなってきています。すぐには難しいかもしれませんが、これらが一つになることで、部活動など、できることの幅も広がり、子どもたち一人ひとりの思いを尊重した教育につながると良いなと思っています。また、同じ年代の子を持つ保護者同士がもっと意見交換できる場など、色々な機会をつくっていくことが私にできることかなと感じているので、さらに人の輪を広げられる活動も積極的にしていきたいです。

【竹信】時代とともに北栄町が良い方向へ変わっていくのは、とても大事なことだと思います。しかしながら、農業という分野でみると、これまで大切に守ってきたものを、いかに継続していけるかということも重要なことです。後継者を



竹信 慶一さん
Yoshikazu Takenobu

家族とともに、北栄町の農業を守り続ける一家の大黒柱。大らかにやさしく微笑む瞳の奥からは、農業に対する熱い情熱が伝わってくる。

若手農家も活躍できる農業に強いまち



津島 望さん
Nozomi Tsushima

PTA会長を務めながら、4人のお子さんを育てている現役ママ。彼女の強く温かいエネルギーは、子どもたちのミライに欠かせない原動力となっている。

子どもの夢を応援できる子育てにやさしいまち

育てていく仕組みをつくる、それが私のミライへの目標ですね。

【町長】地方創生の流れもあり、今後はまちの特性を活かしたまちづくりを5年から10年先を見据えて行っていくことが大切だと思っています。特に、基幹産業であり、自信を持って全国に誇れる「農業」のさらなるブランド化、日本のみならず世界中からファンを魅了し続ける、名探偵コナンを軸とした「観光」による交流人口の増加、そして、まさしく北栄町のミライに受け継いでいくべき「環境」の保全・活用。そして、ワクワクする人材の育成、これらを主軸に、次の10年に向けたまちづくりに取り組みたいですね。



北栄の謎

北栄町からの招待状
真実をその眼で確かめに
いざ、北栄町へ



北栄町合併10周年記念要覧

【発行年月】平成27年10月

【発行】北栄町

大栄庁舎 〒689-2292 鳥取県東伯郡北栄町由良宿423-1 TEL:0858-37-3111 FAX:0858-37-5339

北条庁舎 〒689-2111 鳥取県東伯郡北栄町土下112 TEL:0858-36-3111 FAX:0858-36-4595

【編集・印刷】(株)ジャパンインターナショナル総合研究所

北栄町information



access & event



▲大山

access

- 自動車
【中国道】院庄IC→R179→倉吉→北栄(約1時間10分)
【米子自動車道】湯原IC→R313→倉吉→北栄(約1時間)
- JR
JR山陰線米子駅→由良駅(約1時間)
JR山陰線倉吉駅→由良駅(約10分)
- 飛行機
東京→鳥取(鳥取空港より車で約40分)
東京→米子(米子空港より車で約1時間10分)

event



すいか・ながいも健康マラソン大会

日本海を横目に、すいか・ながいも畑の丘陵や砂丘畑の中を走るマラソン大会。ゴール後は、甘いすいかとながいもトロロ汁が食べ放題という特典付き。



北栄ゆら由良川くだり

北栄町の夏の風物詩として親しまれているイベントで、オリジナルイカダのアイデアとタイムを競う。毎年、趣向を凝らしたイカダに会えることを楽しみにやってくる方も多い。



北栄砂丘まつり

砂丘海岸を舞台に多彩なイベントが行われ、たくさんの笑顔や歓びにあふれた夏まつり。フィナーレを飾る花火は砂丘から打ち上げられ、約2,500発の花火が夜空を彩る様子は圧巻。



町章

北栄町の町章は、北栄の頭文字「H」を基本に図案化。緑色は豊かな実りと夢、青色は協働と創造性、朱色は希望と活力を表している。



町の木「黒松」

黒松は、高木の常緑針葉樹で、風雪に耐えながら力強く成長する。町の砂丘地域では、防風・防砂の役割を果たし、生活や農業を守り続けている。また、町内一円に庭木や盆栽として親しまれている。



町の花「浜屋顔」

浜屋顔は、北栄の砂丘地に自生する代表的な海浜植物である。厳しい環境に耐えながら大地にたくましく根を張り、美しく可憐な花を咲かせ広がる様子は、花言葉の「絆」を感じさせる。



町の鳥「鶯」

鶯は、別名「春告鳥」と言われ、春を呼び込む鳥として町民に親しまれている。町内全域に生息し、その澄んだ美しい鳴声は、躍動的で、明日への夢と希望を与えてくれる。